

2 CAN-DO中心に設計した新しい構成



ストーリーに沿って目標を達成できるように、主教材を構成しました。
また、領域別の英語力を高めるため、帯教材・小教材を配置しました。
「何ができるようになるか」(CAN-DO)で全教材を貫いた、教えやすく学びやすい構成です。

学年目標

学年を通して「できるようになること」を示しました。3年間の見通しをもって、主体的に学ぶことができます。

自己評価

巻末のCAN-DO Listで、5つの領域別に、目標に対する自分の到達度をチェックすることができます。

学年	領域別 CAN-DO	到達目安
1年	1 学校生活 自分や自分の家族について、また自分の学校生活について話せる。	Let's Be Friends! 1 Sounds and Letters Daily Life 1 Daily Life 2
2年	2 自分や自分の家族について、また自分の学校生活について話せる。	Let's Be Friends! 2 Sounds and Letters Daily Life 3 Daily Life 4
3年	3 自分や自分の家族について、また自分の学校生活について話せる。	Let's Be Friends! 3 Sounds and Letters Daily Life 5 Daily Life 6

本書の構成

「できるようになること」がわかりやすく、
学びの見通しがもてる

Here We Go! は、CAN-DOの観点から全教材を設定。学年の初めに全体を見通し、具体的にわかりやすい目標をもてるよう、巻頭の「本書の構成」に示しました。また、領域別のCAN-DOについては、巻末のCAN-DO Listで確認することができます。

本書の構成

本書は、主教材のUnitのストーリーに沿って、バランスよく英語の学習ができるように作られています。帯教材と小教材を活用することで、より総合的な英語の力を身につけられるようになっています。

Let's Be Friends!

小学校の学びを中学校の学びにつなげよう

【主教材】
学習の中心となる教材

【帯教材】短時間学習用の教材

Sounds & Letters

文字を正しく読めるようにしよう。

Story Retelling

自分の言葉で話す力を伸ばそう。

Let's Talk!

その場で会話をする力を伸ばそう。

Active Words

使える語句を増やそう。

【Unitの構成】

扉	Part	Goal
話題を予測する。 話の大筋をつかむ。	話の細部を読み取る。 場面に沿った練習をする。	単元の目標となる 言語活動に取り組む。

4 four

1年生の目標

自分のことや日常生活について、
まとまりのある内容を伝え合うことができる。

2年生の目標

自分の町や
日本の文化などについて、
内容を整理して
伝え合うことができる。

3年生の目標

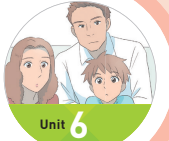
これまでの自分のことや
社会的な問題などについて、
考えを順序立てて
伝え合うことができる。

1学期 自分のことを伝える

- 出会い
- 部活動
- 夏休み



You Can Do It! 1



You Can Do It! 2

2学期 身近な人のことを伝える

- 転校生
- 学校公開
- 家族

【小教材】主教材を補強する教材

Daily Life

日常生活の場面で
英語を使う力を伸ばそう。

World Tour

さまざまな国の
文化に触れ、
視野を広げよう。

Let's Read

さまざまな話題や
形式の文に触れ、
読み方を身につけよう。

Active Grammar

言葉の使用場面と意味、
形やルールを整理して、
適切に使えるようにしよう。

【本書で使われている主な記号】

聞く活動	読む活動	やり取りする活動	発表する活動	書く活動
絵や写真を見る活動	映像を見る活動	考える活動	英語らしく発音するためのポイント	コミュニケーションを円滑にするためのポイント

この二次元コードから、学習の参考となる音声や動画などの資料を読み取ることができます。インターネットの環境によっては、通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

自己表現に役立つ語句

学期目標

UnitおよびYou Can Do It!での学びを通して「できるようになること」を、学期ごとに示しました。パフォーマンステストなどの評価を実施する際の目安として活用できます。

教材のねらい

各教材のねらいや、その学習を通してつけたい力を示し、目的意識をもって活動に取り組めるようにしました。

小教材

(詳しくは本書20ページ)

主教材

(詳しくは本書12～16ページ)

帯教材

(詳しくは本書18・19ページ)

扉

目標の確認、
インプット

Unitの構成

「できるようになること」で
単元を貫き、学びを
少しずつ発展させる

各Unitは「扉」「Part 1～3」「Goal」が基本構成です。言語習得理論に沿った紙面の順に、9単位時間で授業を進めます。各単元の目標(CAN-DO)に向かって基礎的な知識・技能を習得・活用しながら、5領域の力をバランスよく伸ばすことができます。

単元目標

1年 pp. 104-105 Unit 7 扉

Unit 7 New Year Holidays in Japan

今日は1月2日。ぼくたちは4人で初詣に行く約束をしていた。すごく楽しみにしていたんだ。それなのに...

Goal

Reading 冬休みのおまけや感想などを伝える。はがきを書くことができる。

Writing 冬休みのおまけや感想などを伝える。はがきを書くことができる。

Word Board

ate soba made osechi saw the sunrise went to a temple enjoyed flying a kite put on a kimono tried calligraphy

写真を見て、ストーリーの話題を予測する

What did you do during the winter vacation?

How about Tina? What did she do?

ストーリーのおまけな内容をつかむ

1. 音声を聞き、Tinaたちの話に出たことを、左の写真から3つ選んで()に記号を書きましょう。

() () ()

2. 映像を見て、内容を確かめよう。

QRコード

紙面右上のコードを読み取り、Listen/Watchの音声・映像を視聴することができます。

扉ページがあることで、この単元で「何ができるようになるか」が生徒にもはっきりわかります。

授業の流れ 第1時(配当1時間) ※2年以降は、扉を1ページで構成しています。

1 Unitの話題の予測・導入

タイトルや絵・写真を使って題材への興味づけを図ります。生徒自身の話を引き出すやり取りをしながら、話題の予測や語彙・表現の導入をします。

2 単元目標の確認

単元目標を確認します。単元終了時に「何ができるようになっているか」をイメージし、学習の見通しを立てます。

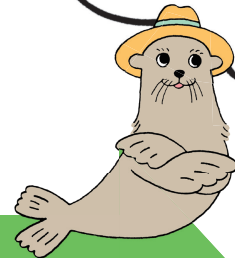
3 ストーリーの概要理解

【Listen】Part 1～3の本文(ストーリー)全体を通して聞き、内容を推測しながら概要を捉えていきます。
【Watch】スライドアニメなどで答えを確かめながら、ストーリーの概要を理解します。

Part

インプットと小さな
アウトプットをくり返す

左ページのストーリーも
右ページの言語活動も、
一貫して「冬休みの出来事を
伝えることができる」という
CAN-DO形式の目標を
中心に進められます。



学習の案内役
オットー先生

Tinaが大みそかにしたこと

ストーリーと
言語活動の場面が
同じだから、習ったことが
すぐに使えるね!



学習の案内役
カカポ

効果的に関連

1年 pp. 106-107 Unit 7 Part 1

Part 1 それぞれ過ごした大みそか

Q Tinaが大みそかにしたのとはどのようなことでしょうか。

Tina: Happy New Year!

Hajin: Happy New Year, Tina!

Tina: Eri, that's cute. What is it?

Eri: It's an *omamori*, a good luck charm. I bought it at a temple.

Tina: I see. I also went to a temple on New Year's Eve. I rang a big bell.

Eri: Hajin, how about you?

Hajin: I didn't do much. I stayed home and watched TV with my family.

New Words

- luck
- charm
- buy → bought
- eve
- New Year's Eve
- ring → rang
- bell
- did
- TV

Happy New Year.
新年の挨拶

did not → didn't

KEY It's an *omamori*, a good luck charm. I bought it at a temple.

動詞の過去形
過去の出来事を使うときは、動詞の形を変えます。go → went のように不規則に形を変える動詞と、watch → watched のように規則的に -ed や -d を付ける動詞があります。

あなたが冬休みにしたこと

先生たちが冬休みにしたことについてみんなの前で話しています。それぞれがしたことについて ✓ を付けましょう。

(1) Ms. Brown

- A cleaned my house
- B watched TV
- C baked a cake
- D tried omikuji

(2) Mr. Hoshino

- E saw Mt. Fuji
- F made osechi
- G bought a sweater
- H went to the beach

あなたが冬休みにしたこと

あなたが冬休みにしたことを書きましょう。

過去の出来事を言う。

I go to school every day.

I went to a temple on New Year's Eve.

I watch TV with my family.

I watched TV with my family.

動詞の過去形
write → wrote
card(s)
relax(ed)
have → had
party
get → got
present

基本文

What is it? 強弱のリズムと音のつながりに注意

106 one hundred and six

107 one hundred and seven

Q 「CAN-DO中心」って、 これまでと 何が変わるんですか?

これまでは文法事項などの言語材料が指導の目標になりがちでしたが、これからは「CAN-DOリスト形式の学習到達目標」を設定し、生徒が身につける資質・能力を、5つの領域ごとに「～することができる」という能力記述文で表します。各单元において、英語を使って何ができるようになるかという具体的な目標を教師と生徒が共有し、その達成のために教師は適切な方法で教材を扱うことが求められます。さらに、当該目標の達成度合いで評価が行われるため、指導と評価がより明確なラインで結ばれることになります。Here We Go! の各Unitでは、扉からGoalまでのページまでそのラインが明確になるよう構成を工夫し、評価をしやすいようにしました。

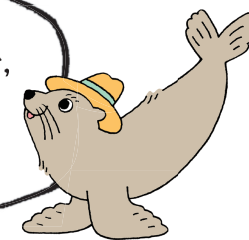
「～することができる」という
具体的な目標の達成度合い
で評価を行うことが、求め
られるようになります。

編集委員 敬愛大学教授
元 文部科学省 教科調査官
向後 秀明

Goal

少し大きなアウトプット、
ふり返り

扉からGoalまでのラインが明確で、
扉ページからの自分の成長が
実感できる構成です。



1年 pp. 114-115 Unit 7 Goal

Goal 冬休みの楽しい出来事を伝えよう

Reading Ms. Brownに書いた、Kolaからのはがきです。Kolaはどこに行って、どんなことをしてきたのでしょうか。

Dear Ms. Brown,
How are you? I enjoyed the winter vacation. I visited my grandparents in Nagano. We had a lot of snow there. One morning, I saw a deer in the woods. It was so pretty. I took a nice picture. I want to show it to you. How was your winter vacation? I enjoy your English lessons. I look forward to the next class.

Best wishes,
Imura Kotaro

Writing あなたのALTの先生で、冬休みの出来事を伝えるはがきを書きましょう。

1. 次の質問に答えましょう。
(1) Where did Kola go?
(2) What did he do there?

2. Kolaの体験したことや気持ちが具体的に書かれている部分に線を引きましょう。

KEYS for Writing
はがきを書くときには、次のような構成を参考に書いてみよう。
● 相手の名前 (例) To Tina, / Dear Ms. Brown. ● 挨拶、相手を気遣う一言
● 相手の挨拶 (例) To Tina, / Dear Ms. Brown. ● 結びの挨拶
● いちばん伝えたいこと (楽しかった出来事など) ● 自分の名前

New Words

- postcard
- snow
- deer
- wood(s)
- pretty
- take → took
- lesson(s)
- forward
- best
- look forward to ~

Words and Phrases はがきに添える表現

- 結びの挨拶
Best wishes, / Best regards, / Take care, / Sincerely, / Yours, / Your friend, / Cheers, / Love.

New Words

- regard(s)
- care
- sincerely

ふり返り

はがきを読み合って、いちばん楽しそうなお休みの思い出を語ってよう。

CAN-DO はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。(PW-4)

CAN-DO 冬休みの出来事や感想などを伝える、はがきを書くことができる。(PW-4)

114 one hundred and fourteen

115 one hundred and fifteen

Goal 言語活動例(書く)

1年	自己紹介カード、身近な人の紹介文、写真のキャプション
2年	日記、職場体験レポート、観光案内文
3年	読んだ文章の感想、投稿文に対する意見、手紙

授業の流れ 第8・9時(配当2時間) ※1年 Unit 3までは、配当1時間のページ構成です。

1 インプット型の活動

各Partでの学習内容をふまえて、読む目的の設定された初見の文章を読み、内容の理解度をはかる問いに答えます。

2 アウトプット型の活動

これまでの各Partの学習内容や左ページで理解したことを活用して、自己表現活動に取り組みます。

3 ふり返り(自己評価)

Unitの学習をふり返り、現在の自分の達成度を評価します。また、巻末のCAN-DO Listで示された技能目標とのつながりや次の言語活動への意識づけをします。

You Can Do It!

技能統合型の言語活動で、
思考力・判断力・表現力
を養う

各学年3か所（各学期末）に、それまでに学習した知識・技能を活用して取り組む、5領域を統合した言語活動を設定。これらは一般に「タスク」※と呼ばれている課題の考え方に基づいており、思考力・判断力・表現力の育成に最適な教材です。

※タスクとは、英語を聞いたり話したりすることで情報を伝達・共有したり、問題を解決したりする課題です。表現の際には生徒自らが用いるべき表現、話すべき内容を考え、工夫して目標の達成を目指します。

思考・判断・ 表現する言語活動

目的や場面・状況に応じて伝える内容を考え、表現する活動です。アウトプットの型がないからこそ、思考力・判断力・表現力が養えます。対話的な学びのステップ(Thinking)も設定しています。

学校行事の紹介ページを作ろう

あなたの中学校が英語のウェブサイトを開発することになりました。1年間の学校行事を紹介するページを作りましょう。

Reading Tinaのニューヨークの友人が通うHudson Middle Schoolのウェブサイトの一部です。自分たちの学校と同じところや違うところは見つかるでしょうか。

Welcome to Hudson Middle School!

Field Trip

Every class went to different places. Some classes visited a museum. Other classes went to the park. The famous Central Park is next to our school.

School Trip

We have a school trip in summer. This is our popular event of the year. Last year, we went to the U.K. and visited some museums.

Science Fair

In winter, we have a science fair. Every student studies one topic and makes a poster. The elementary school students always come and enjoy this event.

Talent Show

Do you like being on stage? We have the "Hudson Middle School Talent Show" in March. Dancing, singing a song or performing a comedy show, you can do anything.

[115 words]

New Words

welcome middle field field trip different other Central Park セントラルパーク trip school trip event last fair topic poster elementary elementary school talent song stage perform(ing) welcome to ~ last year

Thinking あなたの学校のウェブサイトでは、どのグループで話し合い、4つの行事を選んでください。

[例] School Open Day

In June, we have a school open day. You can try our school lunch.

1

2

3

4

Speaking A4の用紙1枚にページのイメージをまとも、見せながらグループごとに発表しましょう。発表した後に、グループ同士で見せ合い、お互いのページにコメントを書きましょう。

クラスで撮った写真を
使ってもいいね。

学校行事の紹介ページを作ることができるかな。

ふり回り

まだできない 助けがあればできる ひとりできる 自信をもってできる

CAN-DO R-1 CAN-DO SP-2

1年 pp. 132-133 You Can Do It! 3

You Can Do It! 一覧

学年	タイトル	活動形態
1年	自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	プレゼンテーション
	「ドリームファミリー」を紹介しよう	プレゼンテーション
	学校行事の紹介ページを作ろう	ポスターセッション
2年	わが町観光プランをおすすめしよう	プレゼンテーション
	職業診断のチャートを作ろう	チャートを作る
	日本のおもしろいものを紹介しよう	クイズ大会
3年	「過去」と「現在」の相違点を挙げよう	ディスカッション
	学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	ディスカッション
	3年間で締めくくる言葉を考えよう	詩を作る

Q どうして「タスク」が 必要なんですか？

言語材料ごとに練習を積んでいくだけで、英語を使いこなせる力が身についていくわけではありません。生徒たちが英語を使ってさまざまなことの「できる」(CAN-DO)英語使用者となるためには、自ら考え、判断し、表現するプロセスと一体となった言語体験が不可欠なのです。



編集委員
名城大学教授
松村 昌紀

「自分の言葉」で 伝える力をつけていく 生徒の成長ステップ

教科書のさまざまな教材や活動を通して英語を理解し、使いながら、伝える力を段階的につけていきます。

自分のことも
社会や世界のことも、
伝えたいことが
言える！書ける！

英語で伝える力が
飛躍的にアップ！

卒業時

STEP
4

多様な題材について、
意見やその理由を述べたり、
説明や描写をしたりする

Daily Life / World Tour / Let's Read など
≫本書20～25ページ

STEP
3

さまざまな言語活動を通じて
思考力・判断力・表現力を養う

Unit Goal / You Can Do It! /
Let's Talk! / Story Retelling など
≫本書15～19ページ

STEP
2

本文の表現を
自分なりに
使ってみる

Unit 本文など
≫本書13ページ

中学校では、
英語でどんなことが
できるように
なるのかな…

入学時

STEP
1

写真・イラストを使った
Small Talkで、
シンプルなQ&Aに慣れる

Unit 扉など
≫本書12ページ

帯活動で3年間。くり返し 使うから，即興力がつく。



詳しくはこちら



Story Retelling



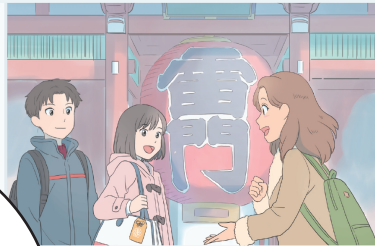
帯教材 Story Retelling

会話文から叙述文へ。
自分の言葉で話す力をつける

巻末に，ストーリーの展開に沿った各Unitのイラストを掲載。絵の描写をしたり，既習のストーリーの内容を説明したりするリテリング活動を継続的にを行い，即興で話す力を伸ばします。

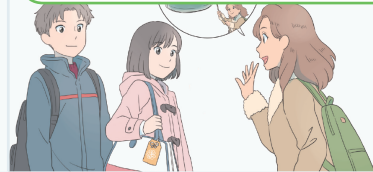
Unit 7 New Year Holidays in

1



New Year / a temple

2



bell / home / TV

キーワード

話す内容のヒントとして
キーワードを示し，活動
に取り組みやすくしました。



toshikoshi soba / long

4



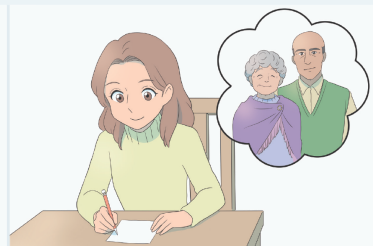
a cold / poor

5



a fever / missed

6



traditional buildings / Japan

On New Year's Day,
Tina, Eri, and Hajin
went *hatsumode*

1年 p. 142 Story Retelling

Picture Description (絵を見て内容を描写すること)は，英検の二次試験をはじめ，各種外部試験でもよく見られます。普段から活動を通して慣れておくことが大切です。



1～3年 とじ込みページ Let's Talk!

3つの共通テーマ

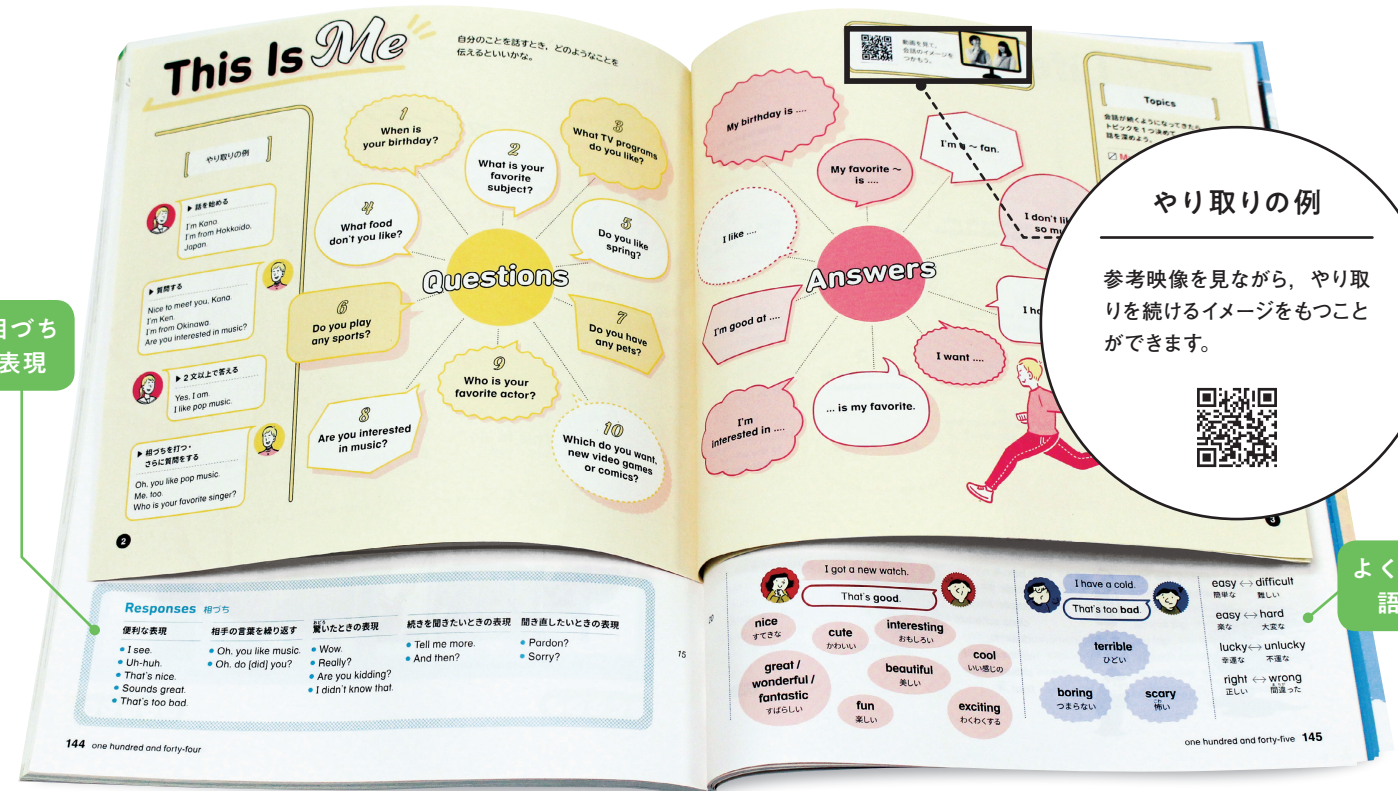
3学年とも「This Is Me」「My Life」「My Future」という，3つの共通テーマで構成。同じテーマで継続的に話すことで，話せる内容が少しずつ増え，成長を実感できます。

帯教材 Let's Talk!

即興で1分間，やり取りを
続ける力をつける

自分自身や身近な話題について，即興でやり取りする力をつける教材です。話を始める質問文と，答えの手がかりとなる表現を示し，生徒が選んで使えるようにしました。授業冒頭5分の帯活動などでくり返し活用できます。

相づち表現



やり取りの例

参考映像を見ながら，やり取りを続けるイメージをもつことができます。



よく使う語句

/ どのテーマでもよく使う語句や表現が，いつでも参照できるつくりです。＼